

女子 唐衣, 裳, 表衣, 打衣, 五つ衣, 単衣, 長袴, 切袴, 細長。  
(中世の遺物はないので, 引続き着られてきた近世の遺物を使う)。

近世 男子 直垂 (大紋, 素襖) 長袴, 袴, 馬乗袴 立付, 初期の小袖, 胴服, 羽織, 陣羽織, 半合羽, 長合羽, 引回し合羽, 脚絆, 手甲, 手刺, 股引。

女子 初期の小袖, 打かけ, 腰巻, 帯, かつぎ, 合羽 被布。

(以上の内, 本学会に発表したものをはぶく)。

#### 47. 日本被服文化史上の代表的衣類の裁縫

産経学園 堀越 すみ

1. 和服の新しい構成を考える時に, 日本被服文化史上の代表的衣類を実物大に模造し, その裁縫技術, 着装姿態, 着心地などを実際に経験することは, 一つのよい参考になるという考えから, 裁縫を明らかにする。

2. 日本被服文化史を文献, 絵画などについて研究し代表的衣類を選定し, それらの裁縫については, 正倉院博物館, 美術館, 神社, 仏閣, 個人に所蔵される衣類 262点につき詳細に調査した。

代表的衣類の品目 (今回は土俗の衣類を除く)。

上代 男子 袍, 禪, 袴, 褶, 襪, 大袖, 短袍, 半臂, 衿。

女子 背子, 裳, 早袖 (以上正倉院衣服)

中世 男子 縫腋袍, 下襲, 裃, 単衣, 表袴, 大口 闕腋衿, 半臂, 忘緒, 狩衣, 水干, 指貫。